

# 国際協力研修「名古屋大学ヤング・リーダーズ・プログラム (Young Leaders Program (YLP))」(実施期間:2018年6月22日)

## 1. 本研修の概要

本プログラムは、アジア・東ヨーロッパ諸国等の国家レベルの指導者として活躍が期待される行政官を、我が国の大学院等に招へいし1年程度の短期間で学位を授与する、文部科学省による国費外国人留学生制度のうちの新たなプログラム（平成12年設立）であり、名古屋大学では平成15年より設立され、平成29年9月に第14期生が修了した。アジア諸国の将来のナショナル・リーダーを養成し、又、日本への理解を深めるカリキュラムを通して、各国指導者層との間に強固な人脈を形成し、諸国間の友好関係の構築を目指すことを目的としている。

国内の関係機関訪問研修の一環として、科学院での研修が行われている。

## 2. 実施方法

当院での研修は2018年度で4回目を迎え、2018年6月22日（金）の午前中に開催された。

午前10時から11時までの約1時間、「国立保健医療科学院の取組み（役割、業務）」について講義を行い、その後、1時間程度で館内（図書館、水道研究施設等）の見学を行った。

研修生からは多くの質問や発言が出され、大変活発な研修となった。

## 3. 対象国

本年度の対象国は、モンゴル（1名）、マレーシア（3名）、ミャンマー（3名）、カンボジア（1名）、アフガニスタン（1名）、カザフスタン1名（計6カ国）からの合計10名であった。研修参加者は、主に地方保健局、中央政府における公衆衛生を担う医系技官であった。



【講義風景 本院：4-1 講義室】



【施設見学 本院：図書館】



【施設見学 本院：水道研究施設】



【記念撮影 本院：ロビー】